

独立して早4年。今年も1年本当にありがとうございました。

# 勇気は機関車

第14号平成16年12月24日

編集者 池部 徹

休日に街へ出掛けた。楽器店・紀伊国屋・服屋をまわり  
ラーメンを食べた。もちろん、どの店員も快く接してくれる。  
笑顔で「何かお探してですか?」「ありがとうございます!」  
と…。



変なことに気が付いた。~当たり前だが~  
ん~そうか、今日自分と接してくれている人は今仕事  
なんだなあ! っ。もちろん、歩いている人・運転中の  
人その大半の人は仕事なのだ。

仕事とは報酬を得て動いている。つまり、プロですよね。  
そう考えると「あなたプロですか? もう少しいい対応で  
きないの?」という人結構いますよね。

今年プロ野球界がゴタゴタしましたが、選手の年俸が高  
すぎるという意見ありましたよね。まあそうかもしれま  
せんが、しかし彼らは一般の人以上にプロ意識がある  
と思うんです。

昔ある講演会での話「今の給料があなたの今の価値だと。  
多すぎず少なすぎず・ウツと思うなら転職してみればいい。  
今の給料が高すぎるって事に気付くはずだと…。」

当時「くそっ~」と思いましたが、確かに一理はあるなと。  
アチユアではダメ! 天職にプロ意識で望まないといけない。  
と反省反省…